

2024年10月30日

報道関係各位

Global X Japan 株式会社

設立5年で急成長、日本で唯一のETF専門運用会社 Global X Japan。

日本の資産運用会社の中で、最多級のSNSフォロワー数を抱える。

異業種人材の活用により、広告運用・デザインを内製化。

成長を支える発信強化の狙いとは？

日本で唯一のETF専門資産運用会社（※）のGlobal X Japanは、設立5年ながら特長あるETFを東京証券取引所に47本上場させ、運用資産残高が4,000億円を突破するなど急成長を遂げています。

成長を支える要素の1つに情報発信力が挙げられます。X（旧Twitter）のフォロワー数は、日本の資産運用会社の中で最多級の8万人弱（2024年10月時点）を誇ります。また商品のビジュアル化に加えて、機動力の高いマーケティング活動やブランディング活動も心がけています。そのため、クリエイティブ制作からWeb広告運用までを内製化しており、人材獲得も工夫しています。例えば、広告代理店やゲーム会社などの他業種からの採用や、デザイナーの社内常駐が挙げられます。

本レターではGlobal X Japanならではのマーケティング活動について紹介します。

※自社調べ（2024年10月時点、日本国内でETFのみを取り扱う資産運用会社）

<話し手（取材時）>

マーケティング部 部長 長谷川 誠

マーケティング部 課長代理 Annie Yang（アニー）

特異性のある新興企業だからこそ、情報発信がマーケティングの肝

長谷川

今や個人投資家が情報を得る手段は、インターネットが主流になっています。特にSNSの普及により、その流れは顕著です。もちろん、証券会社などの販売網を介した投資家の皆さまとのコミュニケーションは変わらず重要ですが、一方で当社が伝えたいことをタイムリーかつダイレクトに伝えるインターネットでの情報発信は欠かせません。

特に当社は、「日本で唯一のETF専門資産運用会社」という強みを持っているため、「ETF投資ならGlobal X Japan」と認知してもらえよう、積極的に情報を発信しています。日本の金融業界ではデジタルマーケティングが十分に普及していないため、当社ではこれらに注力することで差別化を図りたいと考えています。

異業種から人材を積極採用。業界未経験者の発想は武器。多様性が新しい発想を生む

長谷川

当社では、TVCMやトレインチャンネル、大規模な対面イベントやYouTube、X(旧Twitter)…と、オンライン・オフラインに関わらず、さまざまな手段で情報を発信しています。



URL : <https://www.youtube.com/watch?v=LsLDr7xrnUo>

特に注力しているのは、先ほども申し上げたオンライン媒体、デジタルマーケティングです。金融業界にはデジタルマーケティングに精通した人材が少ないため、異業種から人材を積極的に採用しています。当社では金融業界経験者はもちろんのこと、広告代理店やゲーム会社の出身者も採用しており、またデザイナーも社内に常駐するなどして業務を内製化しています。

ETF 専門の資産運用会社として目指すべきは、ETF を活用した資産運用を日本に根付かせることです。そのため、より多くの方が資産運用を始めていただけるよう、投資初心者の気持ちが理解できる金融業界の未経験者も採用し、多様な発想が出る組織作りをしています。

アニー

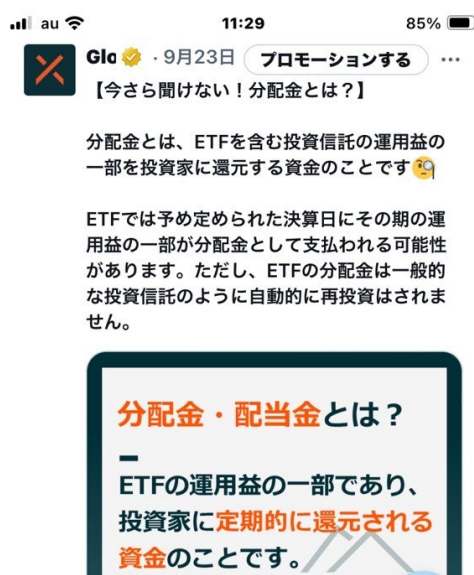
私の前職は広告代理店で、資産運用に関してはほぼ初心者でした。初心者の私が理解できないということは、一般の投資家の方も理解しづらいということです。だからこそ、自身が情報発信をする際には、初心者の目線で内容や表現を考えています。金融業界未経験であり、かつ投資初心者であることが、情報発信をする上で役に立っていると感じます。

デジタルマーケティングは大部分を内製化。機動力のある活動が可能に**アニー**

デジタルマーケティングの大部分を内製化しているのも当社の特徴です。例えば、XのWeb広告運用は全て自社で行っています。自社で運用をすることで、日々刻々と変化するマーケットの状況に応じた、スピード感のある情報発信を可能にしています。

またXのフォロワー数は直近1年間で3倍に増加しており、現在では8万人に迫る勢いで増えています（2024年10月時点）。この数字は日本の資産運用会社の中で、かなり多い部類に入ります。

発信している内容は、当社のETFに関する情報のみならず、相場関連の情報や、金融リテラシーの向上に資する情報など様々です。投資初心者から上級者まで、幅広い投資家層に対して、当社のアカウントをフォローする意義を感じてもらえるような発信を心がけています。



（当社Xのポスト例。投資に関する基本的な用語の発信も行っている）

長谷川

当社では個人投資家の皆さまから日々お問い合わせをいただいているため、よくいただく質問を抽出して、コンテンツ作成の参考としています。そのため、当社のXのポストを読んでもいただければ、ETF投資の基本を抑えられるような内容になっています。

金融商品をわかりやすく伝えるデザインのかと、YouTube 配信

長谷川

当社では商品性がイメージしやすいよう、新商品の登場時にはアイコンを作成し、表現をしているのが特徴です。ETFは金融商品であるため、物理的に見ることも触れることもできません。だからこそ、投資家の皆さまが商品性をイメージできることが大切だと考えて、デザインのかで視覚に訴えることを心がけています。



(左：[グローバルX 半導体関連-日本株式 ETF【2644】](#))

(右：[グローバルX US テック・トップ 20 ETF【2244】](#))

ゆくゆくはアイコンを見ただけで「Global X Japan」を想起していただけたら嬉しいです。

こうしたアイコンはもちろん、Web、バナー、販促グッズまで、あらゆる制作物のデザインをしているのが、社内に常駐しているデザイナーです。外注ではなく、敢えて内製化することで、デザイン性のノウハウの蓄積をしていきたいと考えています。

アニー

商品性を分かりやすく伝えるという観点で、3年ほど前からYouTubeでの発信にも取り組んでいます。ETFのように目に見えない商品については、目論見書などの文章を目で読むだけでなく、目で見、耳で聞くことでより理解が深まります。そのため、新商品の登場の都度、10分程度のYouTube動画を発信しています。またXでの投稿内容を補う際にも、YouTubeの動画を活用しています。

当社の動画を見て、他商品との比較動画や、まとめ動画を作ってくださいのインフルエンサーもいます。インフルエンサーの発信によって情報の拡散範囲が広がるので、どのようにしたら取り上げやすくなるかという観点も意識をしながら動画を制作しています。

米国、シンガポール、オーストラリア…各国のマーケティング事例を参考に

アニー

Global Xはその名の通り、グローバルに事業を展開しています。ニューヨークやシンガポール、オーストラリア、香港など、世界中の各拠点での情報発信も参考にしています。

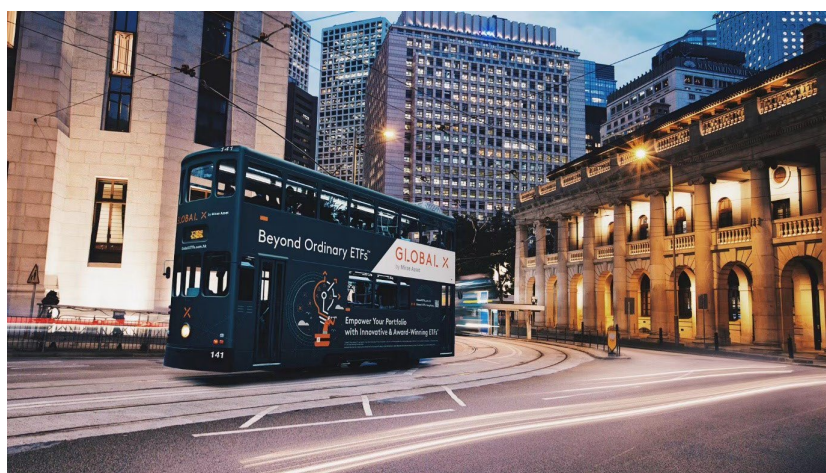
例えばオーストラリアでは新しいファンドが登場すると、30秒程のCMを制作しています。また他国のアイコンにもアイデアが詰まっているので、参考にすることは多いです。



(オーストラリアで使用しているアイコン例。デザインは各地域の特色を活かしている)

長谷川

各国のマーケティング担当とは定期的に情報交換をしています。例えば、香港では広告に路面電車の全面ラッピングを活用していたり、韓国では独自のYouTubeで情報を発信していただきます。商品をストレートに説明するものもあれば、ユーモアな要素を盛り込んだ動画もあります。



(香港の路面電車ラッピング)

日本では、「金融商品はコンテンツを真面目に作らなければいけない」という風潮があると感じていますが、各国のユニークな取り組みは発想を広げるうえで参考にしています。

理解を深めるには、ぜひ投資を

長谷川

当社の運用資産残高の増加が、マーケティング活動の成果指標の1つではありますが、それ

よりも、より多くの方にETFを活用した資産運用をして欲しいという思いが強いです。

当社では幅広いラインアップのETFを揃えています。当社の発信する情報に触れる中で、少しでもETFに興味を持っていただけるのであれば、ぜひETFに投資をして欲しいです。より理解を深めるためには、実際の投資に勝るものはありません。

当社は、日本にもETF投資が根付くよう、今後も積極的にマーケティング活動を展開していきたいです。

(取材・執筆／藤井恵)

【会社概要】

商号	Global X Japan 株式会社
所在地	〒100-6121 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー21階 03-5656-5274 (代表)
事業の内容	投資運用業、投資助言・代理業
設立	2019年9月
資本金	50億円 (資本準備金を含む)
株主	Global X Management Company, Inc. (50%) 大和アセットマネジメント株式会社 (40%) 株式会社大和証券グループ本社 (10%)
拠点	東京
役員	代表取締役会長 張峯碩 代表取締役社長 姜昇浩
役職員	69名
HP	https://globalxetfs.co.jp/index.html
X (旧ツイッター)	https://x.com/GlobalXETFsJPN

【本ニュースレターに関するお問い合わせ先】

info@globalxetfs.co.jp

Global X Japan 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第3174号

一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人投資信託協会会員

免責事項

- ・本資料は会社概要及び投資戦略等をご紹介することを目的としており、資料に含まれる商品の勧誘・販売を目的とした資料ではありません。
- ・本資料に記載されている内容、情報及びデータ等につきましては、本資料作成時点のものであり、各種要因により変動します。
- ・本資料に関する一切の権利、義務は、情報提供者に帰属し、情報提供者の事由により内容が変更・修正されることがあります。
- ・本資料の情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任のもとに行うこととし、万一本資料の情報により損失を被ったとしても、情報提供者は一切の責任を負うものではありません。
- ・本資料の著作権は、情報提供者に帰属します。

・ファンド（投資信託）のリスクについて

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

株価指数先物取引の利用に伴うリスク、株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）、リートの価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

優先証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）、公社債の価格変動、カバードコール戦略の利用に伴うリスク、為替リスク、カントリー・リスク、その他（解約申込みに伴うリスク等）

- ※ 基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※ 設定・交換のお申し込みにあたって、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

・お客さまにご負担いただく費用

ETFに係る費用（金融商品取引所を通してETFに投資するお客さまの場合）（2024年10月現在）

ETFの市場での売買には、証券会社が独自に定める売買委託手数料がかかり、約定金額とは別にご負担いただきます。（取扱会社ごとに手数料率が異なりますので、その上限額を表示することができません。）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、以下の通り運用管理費用（信託報酬）がかかります。

- ・グローバル X 半導体関連-日本株式ETF【2644】：年率0.649%（税込）
- ・グローバル X US テック・トップ20ETF【2244】：年率0.4125%（税込）

※その他の費用・手数料としては、組入る有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。

- ※ 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- ※ 詳しくは、金融商品取引所で取引をされる際にご利用になる証券会社にお訊ねください。

※ 設定・交換のお申し込みにあたっては投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。